

没後30年記念

チャップリンの日本

チャップリン秘書・高野虎市遺品展

2007年10月30日(火)ー12月27日(木)

*月曜日および2007年11月26日(月)ー12月3日(月)は休室です。

東京国立近代美術館フィルムセンター展示室(7階)

開室時間：午前11時ー午後6時30分(入場は午後6時まで)

主催：東京国立近代美術館フィルムセンター

企画協力：日本チャップリン協会、大野裕之



Chaplin Meets Japan

From the Collection of Toraiichi Kono,
Charles Chaplin's Secretary



チャップリンと
高野虎市

出品リスト

この2007年は、喜劇王チャールズ・チャップリン(1889-1977)が逝去して30年の節目となります。チャップリンの作品とキャラクターは今もなお各国の映画ファンに愛されていますが、その秘書が日本人であったことはそれほど知られてはいません。1916年から1934年まで、18年間にわたりチャップリンの秘書を務めた高野虎市(1885-1971)は、チャップリンの全幅の信頼のもと、喜劇スターから世界の映画芸術のリーダーへと羽ばたいてゆくチャップリンを献身的に支えた人物でした。

昨年の春、京都において、近年発掘された高野の遺品を初めて公開する展覧会「チャップリンの日本」が催されましたが、この度フィルムセンターは東京でこの展覧会を開催する運びとなりました。これらの遺品にフィルムセンター所蔵のチャップリン関連資料を加えて、喜劇王と日本の交流や、日本におけるチャップリン映画の受容の歴史を振り返ります。

2007年10月

東京国立近代美術館フィルムセンター

*本展の開催にあたっては下記の個人・団体のご協力・ご支援を賜りました。記して感謝いたします(敬称略)。

東嶋トミエ、下村ますみ、下村武俊

山口淑子、高見映

柘家、株式会社テンプリント、ステッキ専門・チャップリン

パネル写真撮影：伊東俊介

発行・著作： 東京国立近代美術館◎
〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1
TEL 03-3214-2561

編集： 東京国立近代美術館フィルムセンター
〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6
TEL:03-3561-0823

制作： 印象社
発行日： 2007年10月30日

The year 2007 is the 30th memorial year since the passing of Charles Chaplin (1889-1977), the King of Comedy. His films and characters he created are loved by his fans all over the world, but it is little known that his secretary was a Japanese man. Fully trusted by Chaplin, Toraichi Kono (1885-1971) devotedly worked for him as his secretary for 18 years from 1916 to 1934, during which Chaplin had transformed himself from a star comedian to the leader of the art of world cinema.

National Film Center will hold an exhibition "Chaplin Meets Japan" in Tokyo, preceded by the exhibition "Charles Chaplin in Japan" held in Kyoto last year, which made recently discovered Kono's collection open to the public for the first time. By adding various materials preserved by National Film Center to Kono's collection, this exhibition will reexamine the tight relationship between the King of Comedy and Japan, and the history of the reception of Chaplin films in this country.

October, 2007

National Film Center,
The National Museum of Modern Art, Tokyo



凡例：

- ・本リストの通番と会場内での配列順序は一致していない場合があります。
- ・展示資料は、特に記載のある場合を除きすべて高野虎市旧蔵資料(東嶋トミエ氏所蔵)です。
- ・出品内容はやむを得ず変更される場合があります。

1. 写真:チャップリンが高野虎市へ宛てたサイン入りポートレート (1916年)
2. 写真:チャップリンと高野虎市(1927年)
3. 写真(2枚):少年時代の高野虎市(1895年頃)
4. 写真:シアトル時代の高野虎市(1900年代)
5. 写真:航空学校に通っていた頃の高野虎市(1910年頃)
6. 写真:エドナ・パーヴァイアンス
7. 写真:『キッド』(1921年)
8. 写真:高野虎市の自宅(1920年頃)
9. 写真:高野虎市と家族
10. 写真:フランク・ヨネモリの結婚式に参列する高野虎市(1925年頃)
11. 写真:ユナイテッド・アーティストズの創設者たち
12. 写真:メアリー・ピックフォードのポートレート(1920年代後半)
13. 写真:チャップリンとサミュエル・ゴールドウィン(1926年頃)
14. 写真:ヴァージニア・チェリルと高野虎市(1927年)
15. 写真:ラルフ・バートン、高野虎市とチャップリン(1927年)
16. 写真:チャップリンとダグラス・フェアバンクス(1929年)
17. 写真:チャップリンと久米正雄ら(1929年)
18. 写真:『街の灯』(1931年)
19. 写真:アル・ジョルソンとチャップリン(1929年頃)
20. 写真:チャーチルとチャップリン
21. 写真:アインシュタインとチャップリン(1931年)
22. 写真(3枚):チャップリンのポートレート(1930年頃)
23. 写真:チャップリンのポートレート
24. 写真:フォードとチャップリン
25. 写真:『モダン・タイムス』(1936年)
26. 写真:高野虎市とローレル&ハーディ(1936年)
27. 写真:ジョー・E・ブラウンと高野虎市(1937年)
28. 写真:メアリー・ピックフォードと高野虎市



1



2



15

-
29. 写真:アイダ・ルピノと高野虎市
-
30. 高野虎市愛用の鞆
-
31. 高野虎市愛用のカメラ
-
32. 写真:チャップリンと水谷八重子ら(1926年頃)
-
33. 写真:高野虎市と山田五十鈴ら
-
34. 写真:森岩雄、チャップリンと牛原虚彦(1926年)
-
35. 牛原虚彦から高野虎市への手紙
-
36. 写真:遠山満一座(1929年)
-
37. 写真:「濱乃家」での親睦会(1929年)
-
38. 写真(2枚):城戸四郎と高野虎市
-
39. 城戸四郎から高野虎市への手紙
-
40. 写真:淀川長治と高野虎市(1951年)
-
41. 写真:イームズ邸にて(1950年)
-
42. 写真:イームズ邸にて(1950年)
-
43. 写真:イームズ邸にて(1950年)
-
44. 写真:イームズ邸にて(1950年)
-
45. 写真:イームズ邸にて(1950年)
-
46. 写真:イームズ邸にて(1950年)
-



-
47. 写真(6枚):チャップリンの日本舞踊 イームズ邸にて(1950年)
-
48. 写真(2枚):ヴヴェイのチャップリン邸にて(1953年)
-
49. 写真:日本料理店「稲ぎく」にて(1961年)
-
50. 写真:ヴヴェイのチャップリン邸にて(1963年)
-
51. 「ニコニコ大会」ポスター(1919年) フィルムセンター所蔵
-
52. 「チャップリン大会」ポスター(1919年) フィルムセンター所蔵
-
53. 『黄金狂時代』(1925年)ポスター〔1962年再公開時〕
フィルムセンター所蔵
-
54. 『独裁者』(1940年、日本公開1960年)ポスター
フィルムセンター所蔵
-
55. 『殺人狂時代』(1947年、日本公開1952年)ポスター
フィルムセンター所蔵
-
56. 『ライムライト』(1952年、日本公開1953年)ポスター
フィルムセンター所蔵
-
57. 『伯爵夫人』(1967年)ポスター フィルムセンター所蔵
-
58. 『キッド』(1921年)プログラム フィルムセンター所蔵
-
59. 『黄金狂時代』(1925年)プログラム フィルムセンター所蔵
-
60. 『街の灯』(1931年、日本公開1934年)プログラム
フィルムセンター所蔵
-
61. 図書:「映画王チャップリン その小傳と旅行記」(1930年)
フィルムセンター所蔵
-



-
62. 写真:チャップリンと高野虎市の送別会(1931年)
-
63. 写真:英国でのチャップリン(1931年)
-
64. 写真:ガンディーとチャップリン(1931年)
-
65. 写真:諏訪丸船上のチャップリン(1932年)
-
66. 写真:神戸港でのチャップリン(1932年)
-
67. 写真(2枚):神戸港でのチャップリン(1932年)
-
68. 写真(2枚):神戸の料亭でのチャップリン(1932年)
-
69. 写真:帝国ホテルでの高野虎市、チャップリンとシドニー(1932年)
-
70. 写真:おでんを食べるチャップリン(1932年)
-
71. 写真:帝国ホテルのバルコニーにて(1932年)
-
72. 写真:初世中村吉右衛門とチャップリン(1932年)
-
73. 写真:チャップリンと斎藤実(1932年)
-
74. 高野虎市のシガレット・ケース
-
75. チャップリンと高野虎市の鉄道乗車券
-
76. 京都ホテル支配人から高野虎市への手紙
-
77. 来日したチャップリンを歓迎する記事(1932年)
-
78. 写真(2枚):京都・柊家のチャップリン(1936年)
-
79. 写真:岐阜でのチャップリン(1936年)
-
80. 写真:天ぶらを食べるチャップリン(1936年)
-
81. 写真:銀座のチャップリン(1936年)
-
82. 写真:ポーレット・ゴダードと日本の女性(1936年)
-
83. 雑誌記事:「活動写真雑誌」1917年4月号 フィルムセンター所蔵
-
84. 雑誌記事:「活動評論」1919年3月号
川喜多記念映画文化財団所蔵
-
85. ビデオ:『成金』(1918年、トーマス栗原監督)の中島洋好
フィルムセンター所蔵
-
86. 写真:『活動狂時代』(1926年、曾根純三監督)スチル
フィルムセンター所蔵
-
87. 写真(2枚):『チャップリンよなぜ泣くか』(1932年、斎藤寅次郎監督)
スチル フィルムセンター所蔵
-